

11月5日(火)

私に話しかけているのですか

聖書朗読 ルカの福音書 8:1~15

そこで、ペテロが言った。「主よ。このたとえは私たちのために話して下さるのですか。それともみなのためなのですか。」 ルカ 12:41

「私に話しかけているのですか。」と訊いたことはあるでしょうか。私はつい最近ありました。私は礼拝の前にロビーに立っていて、ある質問が聞こえました。私はその女性が自分に話しかけているとは思わなかったのですが、周りを見てみると、皆が私のことを、まるでどうして私が質問に答えられないのか不思議がっているように見えていたのです。それで私は聞きました。「私に話しかけているのですか」と。

今日の聖書箇所では、たとえ話が特別に使徒たちのために話されているのか、それとも一般の民衆のために話されているのかと、ペテロがイエス様に質問しています。(ルカ 12:41) これは変わった質問のように見えるかもしれませんが、イエス様は以前、種を蒔く人のたとえ話をされた時、『「あなたがたに、神の国の奥義を知ることが許されているが、ほかの者には、たとえで話します。彼らが見ていても見えず、聞いていても悟らないためです。』と言われました。(ルカ 8:9~10) ペテロはイエス様が今回は特に自分たちに向かって教えようとされているかどうかを尋ねたのです。

あなたはこれまでに、このルールが自分には当てはまらないと考えているような人と出会ったことがあるでしょうか。今、私たちは、聖書を頂いています。ですから、聖書を読むとき、重要なのは主が私たちに語り掛けていらっしゃることをしっかりと受け止めることです。主が語り掛けていることを私たちは一つのことも見落とたくありません。私たちは自分に良かれと思うものだけを選び取ることはできません。私たちは神様の御言葉と、神様が教えて下さる生き方全てが大事です。いつも神様は私たちに話しかけているのです。

讃美歌 II 80 み言葉をください

祈り 主よ、あなたは私に話しかけておられるのですか。私は聞いています。私はあなたのみこころに生きたいのです。イエス様の御名により。アーメン。

テキサス州 スティーブンヴィル / デイヴィッド・ビアーデン

11月6日(水)

嵐を静める

聖書朗読 ルカの福音書 8:23~25

主は狩人のわなから、恐ろしい疫病から、あなたを救い出されるからである。

詩篇 91:3

何年か前、私はディボーション雑誌《クリスチャン・アピール》で感動的な手紙を受け取りました。

その手紙を書いた女性は26歳の母親で、もしかしたら末期がんかもしれないという診断を受けていました。彼女はその手紙で当時流行った歌から2行の歌詞を引用していました。それは彼女がその困難を乗り越えることを助けてくれる信仰について書いたものでした。

時に神様は私たちを近くに抱き寄せ、嵐と波を荒れさせる。

*時に神様は嵐を静め、また時にはご自身の子どもを落ち着かせる。**

(*編注:1995年のスコット・クリペイン作詞“時々彼は嵐を静める”より)

私たちが神様に問題を取り除くことを願ったとき、神様はいつも“イエス”とってくれるわけではありません。パウロは自分の苦痛を取り除いて下さるように3回神様に祈り願ったと言いました。しかし主は彼に“ノー”と言いました。そして神様は使徒パウロに『わたしの力は、弱さのうちに完全に現れる』と説明されました。(コリントII 12:8~9)

人生の嵐が最も強く吹き荒れている時、私たちはその瞬間にこそ気づくことができるかもしれませんが、神様の優しさと強さに。

讃美歌 520 しずけき河のきしべを

祈り 主よ、私たちが最も傷ついている時にさえ、あなたが私たちを限界なく愛して下さっていることを知ることができるよう助けてください。あなたに信頼することを教えてください。イエス様を通して祈ります。アーメン。



テキサス州 アマリロ / ジーン・シェルバーン

11月7日(木)

あなたは誰に仕えますか

聖書朗読 ルカの福音書 16:1~18

あなたの宝のあるところに、あなたの心もあるからです。 マタイ 6:21

あなたが一番好きなたとえ話はなんですか。いくつかのたとえ話は、どれほど頻繁に読んでいても私たちの心の琴線に触れます。多くのたとえ話は私たちの良識への想像力を掻き立て、私たちがより深く神様と共に歩むことができるように導いてくれます。しかし今回の聖書箇所については何が論点でしょうか。イエス様はどの行動に対して報酬を与えようとしているのでしょうか。イエス様は不正や抜け目のない取引を奨励しているのでしょうか。不正な管理人が私たちに求められている姿なののでしょうか。正直に言えば、このたとえ話は神様が不正な管理人を良しとしているようにとれます。

あなたは父親が子供にお金の価値を教えるのを聞いたことがありますか。私たちの父なる神様は同じようにしようとしておられ、お金の価値がそれほど偉大ではないことを私たちに知らせようとされています。神様はそのことを率直に述べています『人は神のものを盗むことができようか。』(訳注:マラキ 3:8)『あなたの持ち物を売り払って貧しい人たちに与えなさい。』(訳注:マタイ 19:21)『この貧しいやもめは、どの人よりもたくさん投げ入れました。』(訳注:ルカ 21:3)

ここで、イエス様は明らかに、『人間の間であがめられるものは、神の前で憎まれ、きらわれます。』(編注:ルカ 16:15)と言っています。これは私たちが何に価値を置くかという問いなのです。神様は私たちにこの世のお金、神様から与えられたものを永遠の目的のために使うことを望んでおられます。しかし悪魔は私たちに、より短い期間の娯楽の計画にお金を使うように望んできます。選択肢は明らかです。神様に仕えるか、それともお金に仕えるか。

讚美歌 365 わが主イエスよ

祈り お父様、私たちが自分の人生と資源をあなたに仕えるために用い、それによってそれらが去った時、永遠の家に迎え入れられることができるように私たちに知恵をお与えください。イエス様の御名により。アーメン。

ニューメキシコ州 アルバカーキ / スティーブン・ステュアート

11月8日(金)

盲目になって見えるようになる

聖書朗読 ルカの福音書 18:31~43

彼が近寄って来たので、「わたしに何をしてほしいのか」と尋ねられると、彼は、「主よ。目が見えるようになることです」と言った。イエスが彼に、「見えるようになれ。あなたの信仰があなたを直したのです」と言われると、

ルカ 18:41~42

ジョン・ミルトン*が偉大な叙事詩《失樂園》を書いた時、彼は盲目でした。彼は自分の目が見えないことに言及して、それでも祈る時に、“私は見て、語ることができるでしょう。人間の目には見えないものを。”と、はっきり見ることができると言いました。(*編注:イングランドの詩人。代表作『失樂園』はルネサンス期の長編叙事詩の名作である。1608-1674)

ルカがどのように、この盲人が見えるようになった話の主題を発展させたかは興味深いです。彼は、イエス様の人生を見ることができたのに、イエス様の死の予言に関する教えを理解することに対して盲目であった弟子たちの姿を書いています。一方、目が見えなかった男性は、自らの視力がイエス様の御力のうちに見つかることを知るのに十分な目を持っていました。

数年前、私は自分の片方の目に重大な問題があり、治らないことを知りました。自分がいつかは片方の目でしか読めなくなると知ったことにより、私は自分に与えられている視力に、より深く感謝するようになりました。私はこれまで見えていなかったものに目を向けるようになったのです。つまり、見えるようになったのです。

もしかしたら私たちは、自分の目が見えないと最初に確信した時に、初めて目が見えるようになるのかもしれない。

讚美歌 わが心の目を開いてください(ワーシップソング)

祈り 主よ、私たちが自分の盲目に気づき、あなたが見せようとしておられるものに向けて目を開くことができるように助けてください。イエス様の御名により。アーメン。



ミズーリ州 セント・ルイス / デイヴィッド・ビアーデン

11月9日(土)

寒い夜

聖書朗読 ルカの福音書 20:1~4

それゆえ、神に選ばれた者、聖なる、愛されている者として、あなたがたは深い同情心、慈愛、謙遜、柔和、寛容を身に着けなさい。コロサイ 3:12

夫と私は、息子と6歳の孫と一緒にピッツバーグのレストランで素敵な食事を終え、荷物をまとめて出口へ向かいました。孫が床に落ちていた1セント銅貨2枚を見つけ、笑顔になりました。暖かいレストランを出て寒さを感じながら、私たちは車へと急ぎました。私は数歩後ろにいた孫と一緒に歩いていて、この寒い気温の中で彼を急がせようとしていました。

ふと、私は孫がそばにいないことに気づきました。急いで振り返り、私はその理由が分かりました。体温を守るためにブランケットに身を包んだ年配の女性が、歩道に座ってお金を求めて缶を持っていたのです。

夫と息子と私は全員、寒さから逃れることに気を取られて通り過ぎたのです。しかし孫は彼女に目を留めました。彼は女性が凍えていて物乞いをしているのを見て、自分の持っている銅貨2枚を缶に入れたのです。

あわれみとは、災難や困難のうちにある誰かを、助けたいという衝動をもって、かわいそうに思うことです。私たちが仕える主はあわれみの主です。

寒い夜、貧しい女性、そして2セントは私に価値ある学びを与えてくれました。

讚美歌Ⅱ 173 弟子にしてください

祈り 親愛なる主よ、あなたの御言葉と私たちの人生の内にある憐れみの模範をありがとうございます。私たちが周りの人々の必要に対して敏感であり、イエス様と同じように行動できるように助けてください。イエス様の御名により。アーメン。



オクラホマ州 エドモンド / サリー J・シャンク

11月10日(日)

牧場の子羊

聖書朗読 ルカの福音書 22:39~46

イエスは、苦しみもだえて、いよいよ切に祈られた。汗が血のしずくのように地に落ちた。ルカ 22:44

あなたは、愛する父親に縛られ、生贄として焼かれるために祭壇にあげられた時のイサクの苦痛、そして父親が自分を殺そうとしてナイフを振り上げるのを見た時どんなふう感じたかについて、立ち止まって考えたことはあるでしょうか。おそらく「わが父、わが父、どうして私をお見捨てになったのですか」と思ったのではないのでしょうか。アブラハムの信仰を見て、神様は代わりにの捧げものを与えてくださいました。イサクが祭壇から降りて雄羊、角をやぶにひっかけていて、自分の代わりに祭壇に置かれた雄羊が焼かれるのを見た時、彼はどれほど感謝し救われたと感じたことでしょう!

私たちは今日の聖書箇所を読んで感謝し、裏切りの前にイエス様が経験された、すべて私たちの代わりに受けてくださった苦痛を感じることができます。そして私たちは、神様がイエス様に、私たちの罪のために身代わりもなく(そこにはアブラハムとイサクの時のように角をやぶにひっかけている雄羊はいませんでした)苦しみを受けさせた事実を思うとき、どうして感謝で満たされずにいられるでしょうか。

讚美歌 529 ああうれし わが身も

祈り 親愛なるお父様、私たちはあなたが自ら進んで御子を犠牲にしてくださいましたことに感謝します。私たちのため、十字架の死にまでも従われたイエス様に感謝します。あなたの愛は私たちの理解を超えて偉大です。あなたをたたえます。私たちの主、キリストを通じて。アーメン。



アーカンソー州 サーシー / H・グレン・ボイド